

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 1 月 10 日作成)

小委員会名	鋼構造接合小委員会	主 査 名：山田 哲 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼構造運営委員会)	委員長名：塩原 等 主 査 名：井戸田秀樹
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>鋼構造建築物の接合部（溶接接合，高力ボルト接合，柱梁接合部，継手，ブレース端接合部，柱梁接合部パネル，柱脚）に関する最新の研究ならびに開発技術の調査・分析を行い、それらの成果を公表することによって，合理的な接合部設計に関する指針を構造設計者に向けて発信する。</p> <p>初年度：『鋼構造接合部設計指針』第 4 版の改定内容の検討 『溶接接合設計施工ガイドブック』第 2 版の次期改訂内容の検討 2 年度：『鋼構造接合部設計指針』第 4 版の執筆 『溶接接合設計施工ガイドブック』第 2 版の次期改訂内容の検討 3 年度：『鋼構造接合部設計指針』第 4 版の執筆・刊行 『溶接接合設計施工ガイドブック』第 2 版の執筆 4 年度：『溶接接合設計施工ガイドブック』第 2 版の執筆・刊行</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：山田 哲 (東京工業大学) 幹事：中野達也 (宇都宮大学) 委員：吉敷祥一 (東京工業大学)，清成 心 (清水建設)，桑原 進 (大阪大学)，聲高裕治 (京都大学)，佐藤篤司 (名古屋工業大学)，軸丸久司 (日建設計)，鈴木直幹 (竹中工務店)，田中 剛 (神戸大学)，藤田哲也 (日本設計)，増田浩志 (宇都宮大学)，松本由香 (横浜国立大学)，横関耕一 (新日鐵住金)</p>	
設置 WG (WG 名：目的)		
2019年度予算	460,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s36

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会承認企画	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 『鋼構造接合部設計指針』本文原案について、本会Webサイトで会員への意見募集を行った。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>1. 『鋼構造接合部設計指針』第 4 版の改定について重点的に取り組み，運営委員会査読と対応を終え，運営委員会の査読を受けるところまで進めた。</p> <p>2. 『溶接接合設計施工ガイドブック』第 2 版の次期改訂内容の検討については持ち越しとした。</p> <p>3. 指針の改定作業，ガイドブックの改定作業のいずれについても計画より遅れているが，指針の改定内容は充実したものとなっており，小委員会の活動全体としては，それなりに目標を達成していると考えている。</p>

委員会活動の問題点
・課題

1. 本小委員会に限らない問題であるが、大学教員の職務が多くなっており、学会活動に使える時間が少なくなっている。また、大学教員の数も減っており、個々の教員の負荷は否応なしに高まっている。指針類やガイドブックの原稿作成などを従前のペースで行うことには無理があり、出版物の整理・絞り込みや、改定期間の見直しを行うことは、健全な学会活動を維持していく上で必須の課題である。
2. また、多忙すぎる複数の大学教員の予定を調整は極めて困難な状況にあることから、平日における委員会開催ができなくなっている。小委員会の運営が難しくなっているのはもちろんであるが、平日も本務等で多忙を極めている委員の健康管理上も問題である。